

令和5年10月30日

作成者：総務課行財政改革推進係

令和5年度 市川三郷町財政非常事態宣言についての住民説明会

－ 会議録 －

- 1 日 時 令和5年10月20日（金）午後7時30分から午後9時55分まで
- 2 場 所 市川三郷町六郷町民会館 1階 ホール
- 3 出席者 【参加人数】約80人
【町役場】町長 遠藤 浩
副町長 依田誠二
教育長 渡井 渡
【事務局】総務課長 一瀬 浩
総務課広聴広報係 高柳咲子 内藤隼人 芦沢祐弥
総務課総務人事係 石原一彦
総務課行財政改革推進係 一瀬 勝 伊藤昌也
財政課長 森川規彦
財政課財政係 深澤正弘 宮原円加
財政課管財係 一瀬 茜
- 4 会議内容 (1) 開会
(2) 町長あいさつ
(3) 財政状況説明
(4) 質疑
(5) 閉会

5 会議経過

(1) 開会 午後7時30分

(2) 町長あいさつ

町長のあいさつの内容は、次のとおり。

本日は財政非常事態宣言についての住民説明会を開催いたしましたところ、夜分にもかかわらずお集まりいただき厚くお礼申し上げます。また、日頃より町政進展のためご理解とご協力を賜り、重ねてお礼申し上げます。

9月19日に「財政非常事態宣言」を発出致しました。本日は、現在の町の財政状況をご理解いただくことを第一の目的としています。直接、町民の皆さまと相互理解を深めていきたいと思えます。財政状況の詳細についてはこの後説明いたしますが、恒常的な赤字体質と硬直した財政構造により、時代のニーズに合った行政サービスの提供が難しい事態となっております。現段階においては財政破綻ではありません。が、このまま改革なく推移した場合、7年後には財政破綻となる状況が予想されます。行財政改革の検討の出発点である町の財政状況について、まずは住民の皆さまにご説明申し上げ、町一丸となってこの難局を突破していきたいと考えています。

合併により市川三郷町となって18年が経過しましたが、その間取り組むべきであった公共施設の集約や事務事業の見直しができなかったことに加え、町税収入や国から配分される地方交付税の減少もあってこのような状況になったものと考えております。根幹には、旧町や地域ごとの地域愛があったのだと思えます。改革を機に市川三郷町全体として資源の適正配分ができるよう転換をしていきたいと考えます。

現段階では、令和5年度から7年度までの3年間で、町の財政のみならず行政全般において抜本的・集中的改革を行うことで、持続可能な市川三郷町を目指し取組を進めてまいります。

本日は、主に現在の財政状況の説明を行います。今後の方向性は、仕事であります事業の最適化を推進する中で、従事者（職員）と仕事場（施設）を適正化していくことを考えています。行財政改革の目的は、持続可能な市川三郷町として、町民皆さまのウェルビーイング（幸福で充実した状態）の向上を図ることです。財政面やサービスの削減ばかりではないかと不安に思われている方もいらっしゃると思いますが、お金、人など資源の最適な配分を行うことで、例えば、

- ①リニア新駅に近く、自然環境にも恵まれた立地を活かした宅地開発や店舗等進出による「地域活性化に向けた施策」
- ②市川三郷病院、市川小学校体育館及び消防署の建て替え等による「町民の生命を守り、健康増進の更なる発展に向けた施策」
- ③六郷インターチェンジ周辺整備による「企業誘致」など

未来を見据えた新たな施策に着手してまいりたいと考えております。今、町民の皆様と

一丸となり行動を起こせば、必ず未来は開けるものと強い決意で取り組を進めております。今後も、行財政改革をはじめ町政につきましては議会通じて皆様と情報共有しながら課題解決に取り組んでいきたいと思っておりますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

私が町長就任後のこれまでの取り組みですが、3列目の行政改革の列をご覧ください。まず、就任直後に行った事は外部人材の登用でございます。本町外で活躍している方々をお迎えし、これまでなかった考えや仕組みを取り入れ市川三郷町政を変革しようとするもので、以前は、町議、町職員OBが就任していた監査員でした。金融関係者OB、県職員OBにお願いし外部人材による監査体制を構築いたしました。続いて、副町長設置でございます。私が、市川三郷町町長選挙に立候補する決意を固めたのは、街宣車が毎日活動するさなか、町への愛着です。財政再建に加え議会構成は承知していたものの、選挙運動に入ってから発覚いたしました官製談合事件により町の信頼回復、行政のクリーン化、入札制度改革など課題・難題が多く、知事にご相談申し上げ、例外的に県幹部職員を副町長にお迎えすることができました。また、神明の花火大会を町からの補助金や職員の出労を無くす「自走型」推進のため大会会長をやまなし観光推進機構からお迎えし収益性の高いイベントへと進化しております。そして、3段目でございます。業務量調査であります。全ての職員の仕事を調査いたしました。これを令和4年度に分析し、令和5年度、業務量の多い部署へ配慮する人事と行財政改革を専門的に取り組む行財政推進係を新設いたしました。

4列目をご覧ください。財政改革についてであります。就任後、事業実施計画について説明を受け、令和4年度当初予算に反映いたしました。給付支援型から公共支援型への転換でございます。対象者が重複する事業、対象者が極めて限定的な事業、当初の目的を果たしている事業を縮小し施設の改修事業や通学路整備などを重視しました。今年度は、国民健康保険税の適正化に着手しています。国民健康保険加入者だけでは会計を完結することができず他の保険加入者からも流入していた会計構造にメスを入れました。そして、8月までに行財政推進係が推進する体制も、町三役などで構成する推進本部、課長らで構成する幹事会、係長以下で構成する検討部会、学識者・金融関係者・企業経営者・一般住民で構成する推進委員会が設置され推進体制が構築され動き出したので、今般9月19日に財政非常事態宣言を発出した次第でございます。

新しい地域経営の裏面2ページをご覧ください。目指すべき姿はGDW町民の皆さまのウェルビーイング。つまり、幸福で充実した状態の向上でございます。町を一つの会社と見立てた施策マップです。人材を育て地域の財産とします。産業活性による所得向上、企業の業績向上などによる強い地域経済に裏付けられた財政を未来へ投資する施策の推進に充当する持続可能な市川三郷町を目指しています。

(3) 財政状況説明

町民の方より、資料を見ればある程度内容は分かるとのことで、財政状況の説明は行わなかった。

(4) 質疑

参加者からの質疑は次のとおり。

－ 発言者 －

参加者

－ 発言内容等 －

財政非常事態宣言が出されたことは、個人的には良かったなと思います。なぜかという、また今この状況になるまで何をしていたのか、宣言を出すのが遅すぎるくらいだと思います。もっと早く住民にこの事を説明するべきだと思います。次に、このまま問題はこのままいけば、財政破綻寸前になることを、赤字財政の実情を6年ほど前にはわかっていた。前町長、役場のリーダー幹部もわかっていたのに黙認していた。私はそう思ってます。直訴した方もいたでしょう。また、上司に忖度何も言わずに行動を起こさない。自己保身をする。結果は、業務改善できない、赤字も垂れ流し、そんなよどんだ職場の風土を助長したんじゃないか。次山梨一貧乏だと町民はしっかり受け止めます。恥ずかしがってもしようがないです。恥ずかしいのは何年も財政が厳しいことを町民に隠していたことです。私も完全に見てるわけではないんですが、10月以前の広報を見ても、議会広報を見ても健全な町で、そんな大きな問題を抱えているとは夢にも思わず大多数の町民は驚き不安を感じています。正しい情報。町民が知りたい真実を隠していたこと。隠蔽体質と思われても仕方ないです。一生懸命働いてる役場職員、町民のためにも改善してください。次、財政改善の目標、先ほど町長さんの話がありましたけど、3年ほど前からいろいろ検討しているということで私は今日、この席で具体的に何をどうするかとか、そういう話があるのかと。そういう話はないですね。財政改善の目標、工程表を作成していると思いますが、何が問題なのか、具体的にいつからどのように改善、目標達成するのか、いつまでに赤字脱却するのか、期限を切ることが大事です。コミットしてください。町民は言い訳はしません。宣言した町ですから、この状態から抜け出すために何をやろうか。公共施設などの見直し、水道料金下水道料金生活に直結する問題がありますが、財政改善する目標を達成するためには捉われなくて高い目標を設定しないと計画倒れで言い訳に終わってしまうと思います。大変厳しい状況の中で、町が良くなればと思います。失礼なこと言ったかもしれませんが、発言させていただきました。今4

点がですね、その辺はどうなんでしょうか。

町長

はい、非常に前向きなご意見だと受け止めました。ありがとうございます。発表したのが遅いのではないかとということでございました。確かに今の財政状況を示す町の広報にしても、ホームページにしても、書き方自体がそういうよくわからないような書き方じゃないかというように反省はしてございます。その他にですね、知ってほしい私の予算ということで、5月中旬ぐらいに皆様方に回覧板などでですね、お示しをしておりました。そういう中ではそういう状況ということはお示しをさせていただいたんですが、なかなか浸透がしづらかったという経験がございまして、私が就任して以降、書きぶりをかなり強めに書くようにさせてもらいました。そういう中で、財政改革、行政改革に取り組んでいたということでございます。またそれから2点目であります、6年前にはそういう具体的な数字を言われておりますけれども、やはりそういう状況になるっていうことは、それぞれ皆さんが承知の中だというふうに思います。先ほどご挨拶の中で申し上げましたが、やはり地域を大事にする地域を愛している皆様方が行政側としても、そういったことを、あるいは集約をする、あるいは縮小するということがなかなか切り出せずにまた住民の皆様の方もそういったことを望まないというふうな暗黙のそういう環境があったというふうに思っております。そういう中で今回私が就任をさせていただき、やるべきことは多々あったわけですが、この財政再建につきましては、本当に集中的に取り組まなければならないということで、就任直後から役場内での訓示を申し上げることとか、あるいは年度の挨拶とか課長会の挨拶とかには必ず私達ができるできないではなくて、やらなければならないんだという大切な気持ちでやってくれというふうなことを、都度都度申し上げております。こういうふうな流れの中で、職員が一丸となる体制が構築できた。そして今後に向けての取り組みの体制ができたということで、ここから新たな町を作っていくための原点とするために、非常事態宣言を発出し、ここから取り組んでいこうということでございます。先ほどご質問の3つ目だとは思いますが、具体的に何をするかということが示されていないということでございますけれども、これ12ページをご覧いただきたいと思っております。今私達がやろうとしているのは、財政非常事態を突破するための抜本的集中的改革をするということで、これは今回の非常事態宣言の一つの理由は、住民の皆様にも情報を共有してもらおう。もう一つの目的は突破に向けたチャンス、ピンチをチャンスに変える宣言だという二つ

の意味合いがございます。それで何をするのかということですが、令和5年度今年度ですね、もう10月になっておりますが、今年度、いや今年度中に12月ぐらいまでをめどに、羅針盤であります行財政改革、行財政改革推進計画、これを作っております。これが役場職員一丸となった取り組みでこれを年内に作りまして、議会にご意見、提案申し上げご意見をいただき、また年明けぐらいになろうかと思っておりますけどまたこういった形でこれからその計画をお示しをさせていただくというふうに考えてございます。そして来年度から令和6年度、令和7年度、この2ヶ年でその計画を実行いたします。今まで本当は18年、合併から18年経過しましたら、18年の中でやらなければならなかったことを、2年間でやる、やらなければならないということございまして、非常に厳しい改革になろうかと思っております。ではそれは何をするのかということございまして。それが2点目ございまして。行政のスリム化。これはその行政の組織と組織から、あるいは給与体系からいろんなことをですね、議論をしてそれを住民の皆様のご迷惑にならないような行政の体制を構築をしていくということが一つ。それからもう一つは事務事業の総点検。全ての事業を対象にして事業ってのは仕事ですね、これを対象にして、あるいは重複している事業がないか、あるいは他町ではもう既に廃止しているような時代に合っていない事業はないか、そういう今点検をしている最中ございまして。これが2点、それからもう一つは全ての公共施設を対象としたあり方検討。この1万4000人の町、どういう施設が一般的によその自治体では配置されているのか、そういったことを検討をしております。その目標につきましては13ページにございまして、令和4年度ですね、98.2%の経常的収支、経常的な経費ということでございましてこれは必ず支払わなければならないこの人件費でありましたり、借金の返済でありましたり、制度として決められているような給付費であったり、そういったものを払わなければならない経費が98.2%ということで、例えばこの地域で私どもが一生懸命取り組もうとしておりますと六郷インターチェンジ周辺整備についてのその事業費などの捻出が非常に困難なことございましてこれを令和7年度末までに、政策的経費を5%以上に伸ばしていこうというふうに目標を定めております。もちろん令和7年度末までだけではなくて、それ以降も継続して政策政策的経費が生み出せるような、そういう財政構造にしていきたいというふうに考えてございまして。

参加者

住民に対しての謝罪の言葉とかかそういったことも全然感じ

られないがそれはどうなのでしょう。

町長 財政破綻したわけではなくて、今取り組もうとしている決意を皆様にお知らせをお示しをさせていただき、一緒に取り組みましょうという、そういうお願いをしているわけでございます。以上です。

参加者 一昨日、市川大門は行けなくて、今日こちらに来ました。私具体的に改善点を4つ考えておりまして、申し上げます。一つはつむぎの湯。料金が安すぎるんじゃないかと。300円ですね、400円等に上げれば相当収益の改善になるのではと思います。もう一つ大門碑林公園、あそこまだ有料で、入場料600円でその入場をチェックして窓口から1000円取ってるんですずっと、年間5000人の入場者の人をペイしたり、5000人実際あるのかどうか確認して、もしないんであれば、タダにしてしまった方が良いと思います。あと3点目としまして、市川大門の方で、あの古い家がほとんどなくなって町の空き地が出てくる、だからその空き地を活用するような方法をやれば、活性化するのではないかと思います。ただ4点目は、国の方からいろいろ指示があったSDGsとか、あるいは男女共同参画というのは、そういうことがあって、いろいろやられてるようなんですけども、そう思いますがそれについては収益性を考え、もしはっきり言って私が思うにはお付き合い程度でやっていけばいいと思っています。以上4点です。町と人として言えばみんな郷土を愛しているので、いろいろ情報開示すれば、要は積極的にやると思うので、そういうことを協力してくれるようぜひお願いしたいと思います。以上です。

総務課長 総務課長の一瀬です。よろしくお願いいたします。いろんなご提案をいただきまして本当にありがとうございます。我々も今、個別の案件につきまして職員一同丁寧に考えているところでございます。一つのアイデアとして承って考えていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

参加者 まず合併から18年ということですが、その間に高校問題、あれを県に無償で土地をあげて、その代わりに新たなものを作るためにifセンターを作って約30億ですか、そのぐらい町が負担してますよね。それとあと一番最終的には、人件費ですね、まず小学校中学校の統合。これはもう、町長さんは全然議会で、学校は統合はしないというふうな形で

議会で言ってるらしいんですけども、もうこれはもう、統合しなければ
ならない。そうしなければ人件費ですね、先生の問題等、人件費等統合
すれば、1億から1億5000万はまず削減できますよね。それから町職員
の問題。町職員臨時職員がやたら多いらしいんですよ。そういった職員
の削減を人口が少なくなってるんだから当然、合併してから逆になん
か、一時職員が増えたっていうことも聞いてます。ですから職員も削減、
そういったことで、あまり各地域の施設の削減はやめてもらいたい。そ
ういうことでお願いします。

町長

何点かご提案いただきましてありがとうございます。高校の施設費誘
致につきましては、当時は私県議会議員をさせていただいておりました。
そういう中で町も県も同じ行政体でございますから、本来県は県立
高校とするのを最小限の費用で最大の効果とする事業主体、町といたし
ましても、高校設置に向けて誘致をしていたということで、まずその誘
致合戦に勝つ必要があったということでございます。そういう中で生ま
れてきたことで、町も税金で賄われている行政体で県も税金で賄われて
いる行政体。そういう中で両方とも少ない費用で最大限の効果ができる
事業をしたいということで、お互いが、町と県が協定を結んで、どうし
たら一番安くできるのかということで事業が進められました。底地につ
いては、現況融資そのままの状態に無償で譲渡するそして建物につ
いては、県が取り壊しをする。これが大体イーブンの見積額でございま
したので、そういう中で安いお互いが少ない経費の中で用地確保ができた
ということでございます。またIFセンターにつきましては、これは当
然県の方にお渡しをした、元の町民会館、町民体育館、町民図書館これ
がなくなったわけでございますけれども、そういう中で1枚の土地が安
い価格で入手することができたということで、そちらの方に建設をする
ということになったというふうに伺っております。これも合併のその特
例であります有利な借金であります起債ができるということになった。
つまりその後の借金返済については、借金返済の70%は、国の地方交付
税の中で面倒を見てくれるというそういうwin-winな、起債が活用でき
るということで、つまり全ての事業が県においても、町においても少な
い費用でできるということがわかった。そういう推進をしたというふう
にご理解いただきたいと思います。また小学校中学校の統合等、いろん
なご議論はあるかと思えます。先ほども申し上げました通りに、全ての
施設全ての事業について、検討しているところでございます。そういう
中で人件費ということなんですが、学校の先生の小中学校の先生の給与

は県の方から、一部町で採用している職員もごぞいます。そして地方交付税、国から配分されるものの中に学校があるから、交付されてるってこともごぞいますので、そういったことで、一概に学校が再編されると、経費が安くなるということではなくて、プラス、スクールバスを出したりする経費が逆に発生をする可能性があり、そういったこともいろいろ議論をしながら今検討をしているというふうにご理解いただきたいというふうに思います。町の職員が多いということでごぞいました。これも数としては、多いということはず数字が示すことですから、わかるんですが、つまり職員が多いだけではなくて、事業が多かったり施設が多かったりするから職員が必要になってくる。鶏が先か、卵が先かな議論になりますけれども、職員を切ると事業や施設などそのまま放置されてしまう。つまり、まず事業を減らして、する仕事を減らして、そしてそのそこに関わる人、そしてそれが必要とする施設、ここを見直していくっていう方法が正しいだろうというふうに私達は考えたので、今そういう方向性で取り組んでいるということでごぞいます。

参加者 職員は100%の仕事をしてるんですか。各ところに行ってもね職員に挨拶されるってなんてことは一つもないです。行政はサービス業ですよ。いらっしゃいとかそのぐらい言ったって罰は当たらない。あまりにもね、職員がふんぞり返って仕事してますよ。もうちょっとあの、住民を極端に言うとか神様みたいな形でね、サービス業ですから、そういったことを考えて仕事してもらいたいです。100%の仕事をしてるのか、自信持ってますか。

総務課長 ありがとうございます。100%の仕事をしているのかという問いかけですが、そういう職員もいると思いますし、残念ながらそうでない職員もいるだろうというふうに私も理解をしております。この機会を契機にですね、やはり職員もう一度、もう一度引き締めて、しっかりと皆様の信頼をいただけるような仕事ぶりができるように、連携して話をしていきたいと思います。よろしく願いいたします。

参加者 市川にはいけなかったのだからこちらの方に来ました。今聞いていてですね、ちょっと町長の言ってることちょっとおかしいな。何か職員を減らすか事業を減らすかというふうなこと言いましたね。これ言葉そのものがおかしいじゃないですか。そうじゃなくてですね、今の事業の中で、今いる職員の中でですね、いかにしたらそういうことができるだろうとい

うふうなことを考えるわけじゃないですか。人を減らすか事業を減らすかは別で、町のトップの方がですね、どんなことがあって、何かちょっと違和感あるんじゃないかなというふうに思いますけど。だから今言うね、その中にも資料で、非常に大変というようなことに尽きますよね。それで町長がですね、就任後をこれまでの取り組みということで説明してますね。その中で、今までなかった副町長というものを置くということを言いましたよね。これは県のパイプというところだが、町長自ら今まで県会議員としておられた。県のパイプとしては町長があるじゃないですか。そこに対して副町長を置くというふうなことはちょっと解せないんだと。私は今まで話を聞かせていただいて町長はもっとできる町長じゃないのかと。町の中ではそういう話も聞いています。このできる町長自らもっと率先して自分が動いてですね副町長を置かないとできないなんておかしいんじゃないですか。副町長をかず町長自ら率先して取り組んでください。これ一つ町長にちょっとお伺いします。もう一点、今言う宣言ということはですね、先ほどちょっとある方も言ってましたが役場の職員も多いんじゃないか、また臨時職員も多いんじゃないかということを書いてましたけど、これは役場の職員と臨時職員の比率、今総務課長おられるので、比率、人数がどういう形であるということをお教えいただきたい。これが宣言があってですから私はそれはないだろうと思うんですけども、まさかはその先ほど言ったように職員を切るか、事業を減らすかと言っている町長自ら言うんですから、まさかと思うんですけど来年度の役場の職員を採用するなどしないですよね。非常事態宣言を出しているにも関わらず、新しい職員を取るなんていうことはですね、普通の企業であれば、大体赤字であれば、新入社員なんて取れませんよ。その年度は今いる職員でなんとか切り抜けようとするのが普通だと思いますよ。それなのに、こういうことを考えられる、それもなくてただ単に普通に年度が変わればまた新しい人を取ろうという考えを持っておられるから、甚だしい話。おこがましい。ですから来年度なくて、もちろん新人職員採用するなんてことはなしにして、今のいる職員も削られないから、もっと違う方法を考えてね、町を云々っていうきれいごとを言うんだったら、自分の身の回りから先によく見つめ直して、副町長も本当にいるのか、職員もどうなんだということをもっと自分のいろんな身の回りの中を、そして新たに見直し検討されたいかがですか、その辺のところをよくちょっと聞きたいんですけどね。

町長

はい一番最初の仕事か職員が先かといういろいろ議論ですけれ

ども、これこの後、ホームページ上で全ての発言は公開をさせていただきますので、明らかになると思いますが、先ほど申し上げましたのは、今、今後の方向性といたしましては、仕事であります事業を最適化を推進する中で、従事者の職員と仕事場施設を最適化をしていくことを考えておりますということでございます。それから副町長の件につきましてでございますけれども、先ほど冒頭申し上げました。私は就任直後に外部人材を登用をさせていただきました。これは今までの体質を改善していく必要がある変革をしなければならないという考え方によるものでございます。本町の外で活躍をしている方々をお迎えをして、これまでになかった考えや仕組みを取り入れて市川三郷町政を変革をするということを目指してございます。財政普通の本当に何も無いところであれば、そんな必要はなかったのかもしれませんが、財政再建ということそれから今の議会構成、これは承知をしてございました。しかし選挙運動から以降ですね発覚いたしました官製談合事件がございました。これによりまして町の信頼回復しなければいけない行政のクリーン化をしていかなければならない入札制度の改革をしていかなければならないなどなど、いろんなことが大きな改革ということになります。なおかつ、行財政改革推進ということで、この今に至るまでの流れを作ってきたというのは、副町長を初め外部の目、方々（ほうぼう）から人事交流しております外部の方々からの本町にない考え方、仕組みを、こちらの方で、ご意見をいただいてそれを活用していったからこそ、このように今の状態が築けているというふうに思います。これは今ここはですね、これから改革をしますよという宣言というふうにご理解ください。そういったことで普通の行政ではなくて問題課題が山積をしている中で、私1人の力よりも外部の実力あるネットワークの広い人材がいてくれれば、私の片腕となって、この難局に立ち向かっていけるというふうに思います。例えば今は六郷インターチェンジ周辺整備についても非常に県とのやり取りを丹念にやっただいておりまして、この推進は本当に確実に一步一步前進してございます。そういう成果がありますので私は大変に心強い片腕というふうにご考えてございます。それから、新採用についてでございます。今年は新採用をする方向性でございますので、若干名ということで、最小限はさせていただきたいと思っております。

参加者 はい。（挙手）

町長 待って、待って。昨年が採用0でした。そして今年は退職者が、今年

度で退職をされる方が、まだ推測ですけれども、10名までは行くか行かないかなということでございます。つまりそれだけの人件費（仕事力）がなくなるということでございます。そして仕事は継承していかなければならないので、ある時期、その採用がないっていうのは非常に仕事の連携がうまくいかないという失敗もございますので、それは将来に向けてです。今の話ではなく将来。

参加者 何を言っているんですか。質問と答えていることが違うじゃないか。

町長 今聞いてました。聞いてましたか。

参加者 聞いてますよ。

町長 今年今年本年度で退職される職員が約10名前後います。

参加者 10名辞めるからなんなんですか。

町長 その部分の人件費が少なくなります。

参加者 だから支出いかに支出をいかにやっぱりどれくらいにしなきゃならないかということ考えた方がいいんじゃないですか。

町長 だからさっき質問したのは、新採用をするかどうかっていうことじゃないですか。

参加者 こういう新採用をすることによって、また支出が増えるから、いかに支出を抑えるというのは、新採用なんかもこういうときには控えた方がいいんじゃないですかということを私は言ってるんですよ。違います。退職者いく人いるから、その分を取るとイコールじゃないか。

町長 その分じゃなくて、事業継承するために最低限を今年度は採用させていただく予定。

参加者 具体的に何人ですか。

町長 最小限。

参加者 最小限ですか。10人わかってるでしょ。もっとできるんだって。10月だからもう決まってるはずだぞ。

総務課長 すいません人数の方がはっきりわからないのは、これからまた検討されてる方がいらっしゃるんで、はっきりわかりません。ですから、昨年度と今年度合わせて、今のところ意思表示をされてるような方

参加者 それはもう内定出しているでしょう。

総務課長 いやまだですまだです。来年度の新採用についてはまだ内定を出してはおりません。

参加者 内定ではなくて

総務課長 まだ二次試験が始まっていませんから、今からなんです。二次試験は。

参加者 募集は。

総務課長 募集は若干名させていただきました。

参加者 何人なのか。

総務課長 若干名です。

参加者 すいません。だから、私がさっき言ったのはね、こういう非常事態宣言だからお願いするんだというそういう要するにね、町長初め皆さんのご意向でしょう。だからそういう中であればこそ、なおさら自分とこのね、身内の中もよく検討する。これができなきゃいけないんじゃないですかと、そういうことを私は前提としてだけであるならばとであるならば、そのこういった状況の時ぐらいいはせめて新採用というのを控えて、1年に1回しかないとは思いますが私は、かえってそういったね、いかに支出を少なくするかは収入が決まっているのだから支出を少なくして、そういったやりくりでいくっていうどの家庭でもみんなそうでしょ。例えばお給料もらって給料が減ったとしたら、支出を少しでも少なく例え1円でも少なくして減らそうと言ってどの家庭もね皆さんやっ

ておられると思うんですよ。ましては町役場行政なんですからね町民の税金でやってるんですから、であるならば今言う先ほど話したように、まず自分の身内からもっと良く見て、それでどうかといろいろ検討されて、我々もここまでいったらこうなると。前ね何か話変えましたけども、カットしてどうだこうだというふうに言われましたけども、そういうことを本当にこれでも今もうないかと、雑巾を絞るじゃないけどここまでやったと思って、さらには町民の皆さんにもね、こういう形を出してるんだからこれからこういう皆さんもこうです、といった流れをちゃんと持っていったらいかがですかと。だからそういうことを前提に置いて私はせめてこういうことを出してる時には、来年度の採用なんていうのはないでしょうねという意味合いを私は言ったんですけど、町長もその辺のところまでどのようにされてるか知らないですけども考えが。私もさっき言ったようにある人から町長が若いからいろいろできるんだよって話聞いてましたよ。なのに副町長とかこういうことやっておられるから余計におかしいんじゃないのかというふうに私自身は思ったんです。だからそれを聞いたわけなんですよ。ちょっと町長の方で考え方なんで、なんか知らないですけどちょっと考え方が私のね質問したこととずれてる感じがするんですよ。そこをもう一度、自分のまず自分の足元をよく見直してという意味合いで、先ほど採用なんかはしないでしようということ繋がるんですけどね。そういうことなんですよ。よくそこをご理解いただきたいんですよ。

総務課長

ありがとうございます考え方としますと、私達と同じ考えだというように私は理解をしております。職員の採用の部分は、今おっしゃられたように、最低限職員としては自分たちの身を削りながら努力をしながらやっていくという思いは一緒でございますので。

参加者

町長が先にそれを言うべきでしょう。課長がそのことをフォローした言葉。町長たるものが一番の柱はちゃんとそういうことをやらないといけないんですよ。皆さん聞いてても納得できる訳じゃないじゃないですか。

参加者

そうだ。

参加者

だからこういうことがそうだとか皆さん言う訳じゃないけど出るんですよ。

総務課長	そうですねわかります。はい。いろいろなことは申し訳ありませんが、私達も同じ気持ちで取り組んでおりますのでよろしく願いいたします。
参加者	先ほどこっちといろいろ話題になったんですけど、今僕は碑林公園で会計年度任用職員をやっております。皆さん碑林公園に来ていただいたことがあるでしょうか。
多数	無いです。
参加者	町民は無料なんです。知ってますか。
少数	知ってるよ。
参加者	町長と、一瀬総務課長はですね、力を入れていただいている。高柳さんは、何度かお話したんですよ来ていただいているんですけど、その他教育長、副町長、それから財政課長ですかね。申し訳ないんですけど私は会ったことはありません。一度だけ副町長は会ったことがあります。ただ本当にただ顔を見たわけです。名前を名乗っていただけませんでした。つまりそのくらいのレベルですね、会計年度職員があり、もうそういう何か頭だったみたいですね。ですみませんちょっと話は変わりますが、5人の方にちょっと質問ですが、海士町ってご存知でしょうか？海士町です。町長はご存知ですか。他の4人はいかがでしょう。知ってるか知らないだけでよろしいです。相談しないでください。お答えください。教育長知ってますか。
教育長	知らないです。
参加者	副町長。
副町長	私も同じく。
参加者	総務課長。
総務課長	私も存じ上げないです。

参加者 財政課長。

財政課長 はい、同じく存じ上げておりません。

参加者 はいもう、だいぶ前ですね。平成17年に今この町と同じ危機に陥った町です。僕は皆さんが当然そういうことを知っているだろうと思っていました。しかし残念ながら町長だけでした。その町がどういうことをやってきたのか、町長を初めですね、教育長、それから町長にも給料カット宣言されましたけれども、そんなもんじゃないんです。職員までいってるんです。そのぐらい覇気があったんです。今の市川三郷町の役場職員、私も含めてなのかもしれない。その危機感があるかどうか、ちょっと聞きたいんです。僕が市川三郷町役場のすぐそばに住んでいるのでよくあの辺は歩きます。そうすると、休み時間でもないのに、職員がタバコを吸っている。そのことについてはどうですか皆さん、お1人ずつお願いできませんか。町長始め。

参加者 本気度が無いってことだよ。

参加者 いやそのことについてどう思われるか。ちょっとどうですか。ごめんなさいこれはですね、今現状になる前もそうです。今もそうです。この宣言が出てからもそうです。残念ながらいかがでしょうか。先ほど、職員と一致団結するとおっしゃってましたが、本当にそんな気概があるんでしょうか？そもそもは財政やばいよって言ってるのに、我々がですね、町民も何も知らない議員も何も知らないっていうか、議員は議員さん宛ですね議会が終わったこれを宣言するよっていう話で、それで終わって、そうなんです。そもそもそんな何のために行ったのかっていうこともあります。ちょっと先にその話を聞かせてください。皆さんどう思ってるんですか。

参加者 答えろ。

町長 はい喫煙につきましては承知はしてございました。ご指摘をいただきましたので、これを検討させていただきたいと思います。

参加者 5人の方に聞いても仕方がないので町長がそう言うのであればそれでいいです。ただ、そもそもですね、ちょっと職場放棄してるわけですか

ら、休み時間ではありませんよね。なのでそれは、ちょっと本当におかしな話なんですね。これもう結構長い間、皆さん来てらっしゃいます。僕監視しているわけじゃないんですが通るたびにいますから、かなりの頻度で他の人たちもやってると思うんです。ちょっと違う質問します。失礼な事ですが、町長はタバコはお吸いになりますか。

町長 いいえ。

参加者 はい教育長。

教育長 吸わないです。

参加者 副町長。

副町長 吸います。

参加者 一瀬総務課長。

総務課長 吸いません。

参加者 財政課長。

財政課長 吸っておりません。

参加者 はい。では副町長がお吸いになるので、副町長は今までそういったことをやったことはありますか。職務中にたばこを吸いに。

副町長 すみません、副町長の依田と申します。喫煙についてはですね私吸いますけれども勤務時間の中で吸ったこともあるかないかでは吸ったことはございます。喫煙についてはいろんな職場で議論されいて、特に認めてるところを認めてないいろいろあるんでしょうけども、いまのところそういった決まりがなく吸っているんですけど、決してそこで吸ってるから本当にその分時間に行って時間通り帰ってその間に喫煙をしていて、時間が短くなってもしっかりと時間外においても仕事したりしています。

参加者 言っている意味が分からないんですけど。

副町長 すみません。吸ったことがあるかと言えば吸ったことがあります。

参加者 そうですねそういったことがあるんですね業務時間以外に仕事をなさったって、それ申し訳ないんですが、管理職ですよ。当たり前の話ですね。残業付きません。それを当たり前と言っている、その感覚はちょっと僕にはわからなくて、それでもう一つある。私近くにいって申し訳ないんですが、副町長が着任して、碑林公園に見えたんですね。挨拶もほどほどに、それから僕に、碑林公園の状況を聞くわけではなく、何をしに来たのかよくわからない。ちょっと何か時間が空いたからみたいな感じでちょっとその時間を待ち、合間を取ってここにちょっと寄った。そんで何か聞くのか、聞きもしなかったんですね。それで時間がないからというから、何するかねと置いていたら、そこでタバコ吸われた。僕はそのときに思ったんです。僕は申し訳ないけど町民なんです。会社で言えば僕は株主。そのときに、副町長に一言言っても良かったんですね。ただ若い職員がいたので、申し訳ないけどあなたの顔を潰すのは申し訳ないかなと思って私は大人になりました。ただ、今回こういう機会があったので、喋らせていただきましたけれども、何のためにそこへ来たんです。町を良くしようとするんだったら、町の中でもいろんなことを知らないと何もできないじゃないですか。数字だけ見ているんなことをやるのは簡単なんですよはっきり言って、いくらでも作れるんです。事業計画によって、絵に描いた餅なんですよ本当に。どこの企業だってそうですけれども、融資を受けるためにそういうことするんです。今やってることはそれはなんです。海士町のやり方をやって、しっかりみんなが本当に自分たち身を粉にして働く、さっきの人事の関係もありましたけれども、来年また取るかもしれない。今、職員 150 何人いるんですよ。会計年度任用職員が何人かは僕ちょっとはつきりわかりませんがかなりの人数いますね。でも、それはちゃんと施設や、先ほどちょっと言っていましたけど、仕事場の話。変な話ですけど同じような仕事してても、安い給料で働いてるんです。それでお客さんが来なければ良いなってよく言われるんです。何言ってるんだって、ふざけるんじゃないと、僕は思うんです。皆さんここに座ってみて本当に大門碑林行ったことありますか。

参加者 自分が宣伝すればいい。

参加者 僕は宣伝してます。

司会 すみません議論がちょっとずれてしまいますので申し訳ございません。はい。

参加者 ごめんなさい副町長のところについてですけど、そういうそういうね、町長副町長本当にそれで仕事できるんですかね。タバコを吸っていいって、そんな勤務中、仕事ですよ。それってOK なんですか本当に。僕は時間外で仕事してるからそれでいいだろうって話じゃないんだと僕は思うんですけどその辺は襟を正すべきじゃないかと思うんですけど、いかがですか。

副町長 勤務時間中に吸ってることについていろいろご意見があると思うんです。それであと訪問させていただいたときに声をかけなかった件ですけども、私の記憶では拓本を取られていたと思います。そういう作業をしておりましたので、声をわざわざかけなかったような記憶をしていません。

参加者 申し訳ありません。僕は玄関先まで迎えに行きました。

副町長 記憶違いがあったら申し訳ないが。

司会 ろう者の方もおりまして、それぞれがお喋りになると議論がわからなくなってしまうので挙手をして、はい。

参加者 私は一応市川三郷町に移住する予定がございまして、今日それがあるので来させていただきました。一応今年中にはこっちに移ってくる予定なんですけど、それに当たってちょっとこういうものをいただいたので今日いろいろ質問したいと思って来させていただきました。まず一応子供が今、こちらの方の市川の学校に通ってるので、こっちの方に移り住む予定なんですけど、この町が好きで、この町の学校に行きたいっていうことでここに通って、こっちに住む予定になって、この非常事態宣言が出るっていうの聞いて大変ショックを受けました。そんなに財政が大変な町っていうのを知らなかったので、正直とても驚いております。町長の方からねこういったものを出していただいて皆さんに説明をしていただくのはとてもありがたいんですけど、資料の内容がとてもわ

かりづらいです。まずここに書いてあるGDWとか、リンケージ人口、DX活用、リアプロ、この辺なんですけどお分かりになってらっしゃいますか皆さん。とてもわかりづらいですよ。この町って多分高齢化が進んでしまっていると伺っているんですが、この内容を見て誰かわかるでしょう。私自身もググってみないとちょっとわからない内容が多いです。せっかくこうやって作っていただけのらんでしたらもう少しわかりやすく、みんなが読んですぐわかるような内容を作っていただいた方が、とてもいいと思います。これはとても大事だと思うんですよ。これで何が問題で何が大変なのか、どういった改革を推進したいのかっていうのを、こういった横文字は使わずにもっと分かりやすい内容で書いていただきたいと思います。せっかくの資料がもったいないです。さらに聞きたいんですけども、今回、財政非常事態宣言をもらって今回説明会ということによろしいんですよ。なんですけど、聞きたいのは町の収入収益を上げたいのかそれとも経費の削減をしたいのかどちらをメインで言ってらっしゃるのかちょっとわかりません。収入収益を上げていきたいっていうのであれば、どういった何で収益を上げる予定があるのか聞きたいです。例えば、今後の話ですと税に繋がってきますね。そこを今後そういったそういう意味でも考えたりするのかっていうことを言いたいと、削減をするのであれば、もっと詳しく何を考えてらっしゃるのかを今後計画でやっていく予定です予定ですよじゃなくてもう少し詳しくわかりやすく、簡潔に教えていただきたい。多分その説明をしたら町民の皆さんもしっかり賛同してくれる方は賛同してくれると思うし、してくれない方は、そういった意見も出ると思うので、もう少し町民の意見をしっかり聞き入れるような組織を作っていただきたいなと思っております。もう一点、最後にすいませんここに書いてある六郷インター周辺整備と書いてあるんですけど、これは企業誘致ということなんですけど、私が今住んでいる南アルプス市のコストコとかそういったことをおっしゃってるのか、それともただそういう企業を呼びたいというのはどっちのことなのかもちょうとわからないので、その辺を説明していただけると助かります。よろしくお願いします。

町長

ありがとうございます。冒頭ご説明の部分を省いた部分がございますのでわかりづらいのかもしれませんが。またGDWにつきましては、これは実は今年度が始まる時に、職員に向けてですね、発信をした町の職員に向けて発信した先ほど申し上げましたけれども政策のマップ図ということになります。地域を一つの会社に例えまして、中段ですね。も

ちろん先ほど言われたように収入を多くするということがございました。これが経済という赤枠の中に書いてございます。これから人口減少が進むということでもありますから、数が減るのであれば、質を上げていくということつまり1人当たりの町民所得を向上することを目標に、それからもう一つはリンクージ人口これは関係者を増やして行って、例えばこちらにおいでをいただくファンをまた増やしたり、あるいはふるさと納税をしていただけるような、そういう方を増やしていくということです。ふるさと納税を、いろんな牛肉とかいろんな品物で買った、納税行為になる方もいらっしゃるんですが、どちらかという町のファンの方が何かしたいということで、納税をいただけるような、そういう方向性もあるのでこういうリンクージ人口関係者を増やしていくということでございます。この中で丸ポチがでございます。これが主政策として今やっていることでありまして、一つは町内企業約町内企業とか事業所を含めてですね、約300社ぐらいございますがこちらに呼びかけをして、今の何ていうか、業績向上に向かうようないろんな策だとか、アイデアだとかそういったことをお持ちの方のお声も聞いたりですね、県内の経済情景を見たりしていただいて、ご議論いただくというラウンドテーブル市川三郷などというのを、去年から行いました。去年4回行いました、今年も含めてですね、行いまして来週子育て支援課と一緒にですねラウンドテーブルと一緒にやるような。

参加者 今財源が困ってるのに、それはどこから出るんですかそれやるのに。もらったんですけどその資料。子育てのための、今後やるのがわかったんですけど、財源がそんなに困ってる町で、子育ての方に財源を回せるんですか。

町長 だからそれをそれを作るために今改革をしていこうしています。

参加者 改革もはっきりしていないのにそれを先にやるんですか。だからねとても不安なんですよ。子供たちに全部負が回るんです。これから先が。

町長 これは実はご寄付をいただいた団体がございまして、これを財源に充てます。それから国際戦略を含みますトップセールスによりまして、新しい販路開拓、新商品の開発、また観光誘致なども進めていきたいというふうに考えてございます。これも町民所得を上げたりリンクージ人口を増やしたりすることによって、これを税収増に変換させていくと、収

入増の部分でございます。ただ、これには相当の時間と相当の労力がかかるというふうに思いますので、まずは体制を立て直していく削減を向かうことが大事だろうというふうに考えてございます。先ほども申し上げましたけれども、まず事業を仕事であります事業を見直すことによりまして、それに割いていただいております人、職員あるいは建物施設です。ねこれを削減適性化というのを図っていくというふうに考えております。それから六郷インター周辺の整備については、これは企業誘致を今求めています。その中でも人が働く就労の場。働く雇用が生まれるようなそういう企業を将来求めているというふうに思っております。今、計画でいけば、令和7年8年ぐらいには形ができてくれればいいかなというふうに考えております。

参加者

お願いなんですけど今、六郷インターの企業誘致、そういうところで今動いていただいているって言われているんで、そこで今岩間にシンセンミートさんっていうお肉屋さんが入ってて、お肉屋さんにもちょっと見学に行く機会があったので、見学させていただき、何でこの六郷にこういう企業持ってきたんですかって聞いたら、施設の賃料が安いからって言ってました。だからそういうところはすごく美味しい。六郷インターに近いので、デパートの全国のデパートっていうか、ていうか、関東周辺のデパートにお弁当を卸しているそうです。提供したお弁当を、その仕事をやっているんで、そういう美味しい話があるので、企業誘致をもっと早く力を入れてやっていただきたいというのが本音です。そうすればちょっと税収のアップにも繋がると思うので、よろしく願います。

参加者

今日は主人が来れないので、私が代理にきたんですけれども、何点かお話というか意見です。この六郷というところは、とても気候が良くって、すごく住みやすい場所だと思います。そして、子育てにも一番何て言うんですか医療も給食費も、本当にお金がかからなくて、私達が子育てをするときよりもずっと子育てしやすい場所だと今思っております。うちの娘は今となり家に建てて住んでるんですけど、結婚したときに県営の住宅に入ろうと思ったんです。だけど、2人とも共稼ぎなので、収入があるので県営の住宅は入れないって言ったんです。でも皆さんも見ていてわかるけど、県営の住宅は明かりがついているのが本当に少ない。本当にね真っ暗なところが多いです。そして今塗装してるようですが、できれば、例えば若い人たちにああいう住宅に入ってもらえるように、町が県に何か尽力していただいて、であれば、今の六郷小学校の

子供がすごく少ないんです。来年もう入学する方が本当に10名切ってるんです。子育てもしやすいんですけども、住民が増えないと、住民税も入ってこない。で、ここ昨日かな今日かな。NHK ニュース見ていて熊本の街で半導体をやっているすごくライバルのんで人口も増えてきて飲食業とか職場もすごく増えてってというような形をとったんですけど、先ほどの六郷インターのところも開発するって言ってましたけど、できることならそうじゃなくって、人が働ける場所集まれるような場所を作っていただきたいと思います。それは私達が今もう歳ですけども、この次の子供たちが住んで、いいところだなんて言えるような町であってほしいんです。なんていうんだ。子供たちにこの負の遺産も、それを残して、住居して年金も少ないのに働けど働けどっていうのもかわいそうだと思います。だから、ここで町長さんたちも、財政のこの困難なことって言うようなことを言ったと思いますけれども、やはり技術力とか何とかって言うよりは、人を増やさないとこの町も活気がつかない。そして税金等いろいろと入ってこないと思いますので、どうか企業誘致も人が集まるような、そんな誘致を皆さんが少しでも勤めができるような六郷の人たちでも、もっと勤めたいって人いっぱいいると思います。ですから、そういうところを考えていただきたいと思います。そしてやっぱし、うちでもお米作ってますし主人も説得しますけれども、ふるさと納税も少しやってますけど、やっぱし心をこもったおもてなしとか、やっぱ町民1人1人がやっぱり自覚を持って、なんていうんですか、六郷に住んでよかったなって思えるような気持ちも持ち、そういう姿勢を持ってほしいと思います。ですから、あの宮原ってものとても畑も作ってないこともあって、すごく朝も早くから陽が当たって夕方遅くまで陽があたって六郷でも一番でもいいとこだと思います。何か自分が全てで申し訳ないですけど、だからそういうところも、できれば宅地みたいな、何か町で陣取ってやっていただければ、もうちょっと六郷も人口増えるし、子供の数が増えて少しいいかなと思います。なにしろ人が子供が今年は孫が10人クラスなんですけど、来年は5人とかなんか4人とかって聞くと、なんか本当に寂しくてそこをなんとかしたいと思うので、どうぞ皆さん協力よろしく願いいたします。

町長

はい本当に建設的なご意見いただきました。ありがとうございます。冒頭の県営団地の件でございますが、これもあの、県も承知しててですね、所得要件が厳しいあるということで大変先ほど言われたような状況というのがございまして、これも何とかできないかということでもち

ろん物件等、私どもと協議の場を持ってございます。何点か考えはございますけれども、やはりこの法律の規制みたいなのがあってですねまずそれに向けて検討している段階ということでご理解いただきたいと思えます。それから働ける場ということで先ほど申し上げましたが今企業誘致に取り組んでいるところが、雇用が生まれるような、100人規模で雇用が生まれるような環境というふうに、今検討しているというご理解をいただきたいと思えます。そういう中でやはり人口が増えていってその地域を盛り上げる。ということなんですけれども、今の話を聞いていて本当にあの地域をお好きなんだということがわかりました。大東建託が毎年やっている住み続けたい街ランキングっていうものがあるんですね、昨年市川三郷町は県内で第2位になったんですが、今年も第4位に。

参加者 下がっているではないか。

司会 発言がちょっと手話がちょっとついていけませんのでごめんなさい。

町長 その中で地域に愛着が、地域に誇りがあるっていう、そういうポイントが非常に高い。というところでございます。やはりそうやって地域のことを誇りに思っていてご発言いただくっていうことが、あちらこちらご発言いただくことが、私はこの地域の人口伸ばしていく一つのポイントかなというふうに思います。

参加者 それから三珠も市川も六郷も3町あるんですけど、六郷ってインターと駅が近いんです。なのに全然18年の合併してから何にも手がかなくって、町の土地っていうのも駅の東側にもあっちこちあるんですけど、草ボーボーになっていて、もうどうしようもないっていうような感じなんです。ですから、例えば、そこら辺をどうにか。本当にね駅とインターが近いっていうのは素晴らしいことだと思いますので、そこだけの町長さんも多分ご理解していただいて何か達成していただければいいと思います。よろしくお願いします。

町長 本当にやろうとしているのは今まで着手できなかった事業を全てやりたいという中で、こういった財政であります。財政のやりくりの仕方を変えていくということに取り組んでいるわけでごさいます、もちろんそのポイントですね。それから駅の周辺の何らかの開発、また先ほど

言われてましたように人口増の取り組み、こういったことには、今後まずはその六郷インター周辺の企業誘致を進めていくということで順次進めていきたいというように思います。

参加者

本年 79 歳です。私が今日来ましたのは町の方針が何を説明したりとか聞きたかったから。財政状況。そしたらちゃんと話を聞いてると 100 人いると 100 人の考えがあるから、いろいろあると思います。私は今日は一番の問題は、どうして財政を立て直すかっていうことを期待していたんですよね。どういようなことをするから皆さん賛同してくださいよと。企業株主こういう状態になったら倒産は目に見えています。それを防ぐにはどうしたらいいかと社員全員で考えますよね。一番最初に来るのは給料です。給料がカットになると思います。10%また 20%全員がカット。それでは生活できないとかそれをどうしようかっていうふうに考えるんです。社員が。社員はそれは役場の皆さんです。その話は今日 1 回も出てこないんですよね。どうしてですか。疑問に思ってるんですよ私は、町長さんの政治の話聞いたんじゃないんです。どうして立て直すのか聞きにきたんです。役場のカットね、その話がすぐ出てこないどうしてですか。繰り返しになりますよ。

総務課長

すいませんご意見ありがとうございます。冒頭ですね、私どもちょっと説明をっていうことにならなかったもんですから、ご説明できなくて非常に申し訳なかったなというふうに思います。我々としましても先ほどご意見いただいたように、何が今一番過剰な形になっているのか、町長が説明しましたが既にほかの町で役割を終えたと思われる業務もうちの町ではやっていないか。本当に今それが必要なのかということ職員全員で今考えているところです。ただですね、個別の事案については、これから最終的な目標を立てているところでございますし、方針を今日の段階では本当に非常事態宣言を発することにいたった背景の現状をお伝えして、いま町の職員が中心なって考えています。具体的な方向性については、議会にもご説明申し上げながら、年明けには皆様に改めてこういう説明会を設けさせていただく中でお知らせをしていきたいというふうに考えております。今は本当に作業中でございますのでご理解いただきたいと思います。

参加者

すいません。今作業中では遅いと思うんですよね私は。この時点で発表するときは、数字を出さなきゃいけないと思うんですよ。町ではこう

こうなるからこうしたいんだと。今なにも明確でない。大変ですよ。それを解消するには、何年かかるんだろう。それを解消するには何人の人件費を削減しなきゃいけない。でもこれ対応すると、生活に困って、だったら全員の給与をダウンするとそういう方策があると思うんですね企業じゃそうですよ。私は実際そういう目にあってますから、ダウンしました。私の給料が。それで問題意識団結して会社をもう一度立ち上げると、これが企業ですよ。それは役場も同じだと思うんですよ。皆さん1人1人が、私もね役場でいろいろ嫌なことがありますよ。必ずね、屁理屈を言う。そういうのが得意、そうじゃないですか。いや、多分そうですよ。多分皆さんそう思っている。屁理屈を言うのが得意と一番です。我々はただその屁理屈をだからこういうふうになっちゃうんですよ。だから、町長さんもちゃんと何が問題で、ちゃんとした数字を出して、皆さんぜひ賛同してくださいって言ってくれたら多分皆さん賛成すると思うんです。以上です。

参加者 先ほどですね団地の話ですね、その話が出たんですけれども、その話に戻ってしまいますけれども、副町長さんどうですか。総務課長どうですか。あそこ夜通ったことありますか朝早く、日曜日に通ったことありますか。ないですね。これ言った通りまず電気が点いているところが何件あるか。見てみてください。

町長 なんの話ですか。

参加者 県営団地の話。先ほどのね。あんなに空いている部屋はない。ぜひ見てください。町のトップが知らない。総務課長が知らない。副町長はそのために来たけど歩いてないから知らない。普通でしたらとりあえず1回歩いてみてください。普通だったらね、そういうところを歩くのが当たり前。自分の目で見ると、それがトップの仕事。それから2年ほど前から役場の仕事のね、内容を精査して、職員がやってくれています。やっぱりね、したようです。それではどのぐらいの人数を精査した結果何人減らしましたか。そういう話はそんなに出ない。精査とは、10人の仕事を8人です。7人でやるっていうのが、普通の企業のやり方。ただ、この人はこの仕事が得意だから、こっちにやった。六郷の人間を三珠にやった、市川にやった。そういうことじゃないんです。仕事の見直してっていうのは、企業っていうのは、金なんですよ。そのために今日ここにいます。それが全然出ない。同じ人数でやってもしょう

がない。副町長さんを、1200 万かかっているか知りませんが、それを副町長さん使うなら、1200 万かかれば 1500 万浮きました。それがやっぱり管理職、トップの仕事。そういう成果がなく、ただやったから今の状態がそういうのあんまり見たことない。その辺をもうちょっとしっかりやっていたきたい。それから、これ私も経過は覚えていないけれども、やっぱり小学校どんどん減ってます。そうすると身延町と同じように、旧六郷町はなくなります。そうするとあそこ下部みたいにね、1 個も、学校と名前がつくものが一個もない。ちょっとやっぱし、まもなく旧六郷町もそうなる。今のまま行けば、それを防ぐにはどうしたらいいかとやっぱりそういう、今ね、私はそういう県営団地の空いているところ、来てる人見ると、向こうの中富とかね、向こうから通ってるので、そういうことを言ったってね、制度なんてのはあんまり人間自分たちが決めたもんですからね。どうとでもなる。それから、町長さんは知事さんと仲良いようですから、そちらの方にね、はっきり言って。ただ副町長さんもそういうことは言ってる。そういうふうな活用を少しはね、やっていたかかないと、何のために力のある町長がね、県議会から降りてきたのかわかりません。これは大変かもしれませんけどね。市川と割石と、向こうとこっち、北南、全く仕事の仕方が違うと、割石からね。議会の中でもあまり力を入れてない、というふうな場所も聞きます。それと同じように、しっかりこの際やっていただきたいと思います。さらにもう 1 点、この大きな建物が、各町にあります。六郷だけかもしれませんが、まずこの旧六郷庁舎も大きな建物だった冬は暖房、2 階は吹き抜け、夏は冷房、大きなやつをね、使っても使わなくても全部動いてるわけ。そういう経費について考えたことはありますか。もうちょっとね、その辺を徹底してね、考えていただきたい。使わないものは閉めればいい。それが当たり前、普通の企業の話です。使わないところは閉めますよね。全部 2 階までそっくり冷暖房を全部使ってる場所なんてありません。その辺も考えていただきたいと思います。

町長

先ほどもお答えをさせていただきましたけれども、岩間平団地等々住宅につきましては検討、テーブルを持って議論をしている最中でございます。また職員の人数につきましては総務課長の方からお答えさせていただきます。小学校がバスでどうのこうの議論ございました。これも先ほどお答えさせていただきましたように、小学校とか中学校は、教育は県の採用で、そしてあの地方交付税の査定になっておりますので、それがあって、収入があるということでございます。これから仮に統合して、

バスを走らせるとなると、例えば学校は一斉に始まりますから1ヶ所に何方向からも同時にバスを走らせなければならないということで、そういったことを今議論をしております。そういう最中ということでご理解をいただきたいと思います。いろんな考え方がございますので、安易にこの数が少なくなったということだけではなくて、今教育委員会が取り組んでいる最も大きな事業で、やはり地域の愛着を育むためのふるさとのキャリア教育というもの。これは学校と地域が一体となって、学校が地域のために地域が学校のために何ができるかっていうことをしているそういう事業を推進をしている最中ということでございまして学校とその地域が非常に関連性が高いというふうに私も認識はしております。先ほどもそれからまたあの建物についてのその経費、確かにその観点は今の議論の中心にあるというふうに私も考えてございます。もちろんここでお示しをさせていただければいいわけなんですけど、まずは本日は財政の本当に危機的状況ですよっていうことを皆様方と共有する、そしてもう一点は、役場の体制ができましたので、ここから改革に向かってスタートしますよ。その二つの責任を共有しているというふうにご理解をいただきたいと思います。

総務課長

業務調査に関係のお話を伺いましたのでそちらの部分をお返答させていただきます。我々としりましても初めてそういう業務量調査というのを取り組みました。なかなか公務員というのはそういうことに温度が低いというところはもう我々も理解をしております。それをもってですね、どんな形で業務量調査をやったらいいのかということいろいろ試行錯誤しながら、またあらゆるところからご意見をいただいたりご紹介をいただいて、初めて私の役場に勤めて35年になりますけれども、本当にこういうことを初めてやらせていただきました。なので今まさにそれに取掛かかった最中というふうにご理解いただきたいと思います。遅いということを言われれば、本当にその通りだと思っております。職員一同に今のようなこともお伝えをしながら、もっともっと真摯に業務に取り組むようにしていきたいと思っております。

参加者

防災のことが何も書かれていないので、すごく心配でした。そういうのもちゃんと人口が減っているのもこの町っていうか、なんか土地を持っていらっしゃる方が、皆さん県外に出て行かれて田畑がすごく荒れてまして、私毎日のように鹿が5頭も一緒に連なって走ってるとか、実際そうになっちゃっているのがすごくあるんですけども、そういうなん

ていうかな私が住んでいるところは、もうそういうふうな地域なのかどうかわからないですが、そういう動物の被害なんかも多くて、農業の収益っていうのを考えているっていうのは多分市川だねって、そういうふうに思っちゃってこの辺はいつも蚊帳の外だねって思ってます。なんかこうやっていただいて何かこういうふうに変ったからよかったっていうのが、今まで何もないもんですから、そういうふうに思います。だからなにか農業の収益っていうなら、どういうことを目指しているのかなとか、そういう地域ではないよとかちょっと伺いたいし、企業誘致っていうのもいいんですけど、そこの地域に荒れてるところがたくさんで、もうなくなって、誰の持ちものかもわかんないようなところもあるんですけども、そういうところを全部して65歳以上の人もすごく元気な方がいらっしゃるので、施設とかもね。何もしないで、ほとんど家にいる人の方が多いと思うんですけど、そういう人たちを活用すれば、健康でいられるしその介護の方のお金も少しは減ると思います。きちっとそういうことも考えて、企業も外からだけじゃなくて中からもちゃんと起こしてほしいです。動物じゃないけれども、田がたくさんあるんだから、その草刈りをして企業にするとか、いろんなことを考えて、お年寄りの人が働くんだから1時間のパートとか30分でもいいよとかって言えば、ちゃんと働ける場ができると思いますし、それで毎日そこまで行くっていうこと自体も、ためにもなると思うので、そういう企業面からのこういうことでお年寄りは何もしなくてっていうんじゃないで活用した方がいいと思います。それと施設。意見の一番最後のところに、意見、これも書いてありますけれども、それってもし、ここはちょっともう必要ないとか何とかっていうのはそちらの方で考えて、閉じてもお金はかかるんですよ。建物は傷むし、それなりのちゃんと費用もちゃんとかかってくるので、もし閉じるのであればきちんとした理由とか、その閉じた後にどういうふうにご利用されるのかっていうのもきちっと説明した上で、これから皆さん納得してから閉じてほしいなと思います。以上です。

町長

はい農業ということで先ほど言われた通りですねまさに農業が市川三郷町の大塚中心に何かあるのではないかとということでございまして、まず、これはやはり歴史などもあるんですけども、収益があるようなトウモロコシですとか、大塚ニンジンですとかそういったものがあるからということでございます。これをできるだけ他の地域にいろいろ広らせていこうというのが今回の狙いの1つでございます。またこれを面

展開に行ってるんですけども、広めることによって収益性を上げていくということ、またもう一つは新しい収益に取り組んでいけないかなということ、昨年からです、昨年からの柑橘系の手のかからない品種を見つけることができてですね、これが大塚地区の方で栽培をされております。これも非常に柑橘でレモンに近いものなんです、搾汁をすると、非常に秀逸ないいもの。これが将来面展開できないかということでございます。またもう一つは食糧危機などという言葉が最近報道等に出てきておりますが、そういうようなまた物価高騰などもあるということで、ちょっと町の中で自給率を上げていくことができないだろうかということで、取り組みを進めてございます。もちろんあの今の段階は、中心となるのは大塚地区というふうになりますけれどもこれが広がっていくように、いわゆる来年、来年度以降ですねしたいなという。まだあのモデル事業にもなっていないものでありますから、お示しをすることができませんけれども、そういったところで検討をしていくところです。シルバー人材活用の件でご提案がございました。大変にいい取り組みだと思います。またこの辺についてはですね、ちょっと検討させていただいて、どんな形でできるのかというものをお示しができればと思いました。それから施設の検討ということでお話をいただきましたけれども。

総務課長

はい建物としても費用がかかるよということでその後の利活用を考えないといけないんですよというご提案だと思います。ただ、今現在そこまで考えてできるかどうかという段階ではちょっと正直ないんですが、いろんなものを考えておりますけれども、差し当たっているような理由でこの施設が多いですよというところまでは考えていきたいと思っておりますし、今現在それを考えているところでございます。その後の利活用につきましては、やはり一度こういうところでリセットをして少し時間をおいても、やはり必要な施設だとかそういうことが後々にですね、出てくると思います。それらは皆様の声をきちっと聞きながら対応します。

参加者

まだ防災について伺ってありませんが。

総務課長

申し訳ありませんでした。防災の件につきましてはやはりいつ何があるかわかりませんので、これは別としても考えなければいけないことだと思っておりますので、防災については常に検討しておりますので、また具体的なこういうプランの中に、この行財政改革とそれがマッチする

のかちょっと別なものかもしれませんが、日々の業務の中では十分考えておりますのでご了承いただきたいと思います。

参加者 私に住んでいるところは道路がすごく汚くて、一方通行的な道路しかないものですから。

参加者 それは別にやってください。

参加者 すみません、ちょっと時間あれだから具体的な話は何もないし、数字も出てないしそれから、それに対して12月ぐらいまで、3ヶ所で会議を開いた内容を踏まえてどうしようとか、そういう内容を十分に話をするとか、何か一遍も前向きな話がないんですね。具体的な話は、来年度もう令和5年も3月で終わりです。なにかそういった方向性、数値を出したり目標だったりできるんですと約束してください。日にちを切って日にちを切らねば駄目なんです。

町長 よろしいですか。先ほども申し上げましたが12ページをご覧ください。今回の抜本的集中的な改革は令和5年度から令和7年度までの改革でございます。令和5年度に、この行財政改革推進計画を作ります。これは今年度中に今年中に作らしていただきまして、まず議会の方にお示しをさせていただく。その後に住民の皆様にもこのような同じような形で、ご報告をさせていただきたいというふうに考えてございます。この計画をもって令和6年度そして令和7年度で実行していくというふうにご理解をいただきたいというふうに思います。ですから年明けぐらいには具体的な案をお示しをさせていただけるというふうに思っていたければと思います。

参加者 日にちを切ってください。例えば、来年1月の何日までにというように。まずは何をどうするのか状況がわからないので、そこは具体的な取り組みが綺麗な言葉を並べたって全然痛みを伴ってないんですよ。日にちを切らなければそれが達成できないんです。皆さん大変厳しいと思いますけど、ゴールをね、日にちを切って進めていただきたい。

町長 日にちまではちょっと実際なんていうか1月の行事日程が理解できていませんし、また会場等の都合等もございますので、今ここで何日ということとは難しいかと思いますが、1月の中旬ぐらいを目処に。

参加者 1月末までにやればいいじゃない

町長 1月中には必ずこういった3ヶ所では開かせていただきますので、約束としては一番最初に六郷地区をやらせていただきたいです。

参加者 ちょっと今回私は、あの新聞の方で町が緊急事態宣言を出す事態になっている。全国で同様な状態が悪い自治体が続いちゃう、その中に入ってしまったという本当に驚きました。このことを知った町民は、今後の行政サービスが低下するのではないかと心配している人がずいぶんいると思います。この難局を遠藤町長を中心にして、全職員それから議員諸氏も、よりの確な改善策を示してほしいと思います。約20年ほど前に政府の法人税、平成15年に3町が合併しその後の10年間は合併特例債があったことで問題もなかったでしょうが、何年ぐらい前から前からこのような状態になっているのか、財政がこんなに悪くなっている所を知りたいということです。今後町の財源の住民税だとか、固定資産税、所得税、諸々の増収や、国からの地方交付金をまた補助金も多くは期待できないと思います。そこで、町有温泉先ほども参加者さんも申しあげました町有温泉について、些細なことかもしれませんが提案させていただきます。3町が合併した18年前に私は協議会で、のっぶいの湯とつむぎの湯の運営に対して改善を求めました。両施設共町が企画を建設して、まもなく民間業者に業務を委託したことで、のっぶいの湯は、入浴料が750円。そのうち町の収入は入湯税150円だけでした。それでも当時年間には2000万以上の収入がありました。特にのっぶいの湯は立地条件と景色や夜景がいいことで評判で、県内外からの利用者がずいぶん多くある日本一との日本一との評判です。ますます入場者は入浴者は多くなると思います。それで現在の契約の期間と料金について、どのようになっているかをお知らせ願いたいです。以前提案した時と今の町の状況はだいぶ違うことです。町の状況を委託業者に理解を求め、利益配分の一部を交渉することが大切ではないでしょうか。町が周辺公衆に有力な施設だと思います。一方、つむぎの湯は先ほど、参加者さんが申しあげたように、つむぎの湯についても、入浴料が町内が300円、町外が400円と安く、運営に悪い影響が出ると思い、その時点で提案しましたがその際は見直されませんでした。現在も全く同じ状態でやっております。つむぎの湯もオープンまもなく業務受託したことで、受付の者が町内外の判別が分からなく、町外の人も、町内料金で入館しているということを噂も

あり、当時そのことも求めたんですけれども、未だに解決されておられません。それから六郷のニードスポーツセンターについてもいろいろ問題を抱えていると思いますけれども、開館の日を少なくすとか人員を削減する中で、できるだけやっていければと思っております。私はこの84歳で脳梗塞をして、ちょっと言葉もあれですが申し訳ございません。そんなことをよろしくお願いします。

町長

財政の何年ぐらい前からっていうのは、後で課長の方から。またのっふいの温泉ですがここは非常に優良施設ということでございました。入湯税だけではなくて、年間の入浴客が16万人を超えるとですね、プラスマージンをいただいております、ちょっと具体的にはわかりませんがその入湯税よりも遥かに金額が高い金額をいただいております。そういう契約っていうのは何が間違ってるか今、認識できませんけれども、これも指定管理がずっと続いておまして、やはりその会館から携わっていただいているっていうことで、もちろん相手方には町外県外にPRをしていただいたり、いろいろ相乗効果が非常にあるので、今後も契約していただけるかどうかわかりませんが、続けていければというふうには考えてございます。また実はコロナ禍には逆に、この入浴客がもう0に近い数字だった時が2年ほどございました。このときはさすがにですね、逆に何か支援してくださいっていうことで申し入れを受けましたけれども、やはりそれは規定にないということで、契約にはそういうのもありませんでしたから。ただここ数年、今年、昨年ですか、昨年度の決算では、ほぼ近いコロナ以前の数字に近づいてきているということで大変私達も安心しております。つむぎの湯、ニードっていうふうなことになるんですけれども、このいろんな施設についても、やはり今どういうふうにあり、あり方を検討してございますので、またそちらの方が出次第、来年1月中にはご説明ができるということです。またニードスポーツセンターにつきましては、先日運営委員会の方から私が諮問をさせていただきました検討結果をいただきましたので答申いただきましたので、この件も含めてですね、検討をしていきたいなというように思います。

財政課長

財政課の森川です。よろしくお願いたします。私から財政状況につきまして説明をさせていただきます。資料の3ページになりますがこちらの財政非常事態宣言の背景ということで原因の分析の部分になります。1点目として歳入面における自主財源の減少といたしましては、高齢化人口減少に伴う町税収入の減少、そして合併による地方交付税の段

階的縮減がございました。また2点目といたしまして、歳出の硬直化の原因につきましては、公共施設の集約不足、従前どおりの行政経営による事務事業の見直し不足があります。要因としてこういったことを分析しておりますので、これらの要因につきましては、合併以前、あるいは合併後から徐々に進行していたものと考えております。また資料の7ページの方になりますが、恒常的な赤字体質の顕在化があるということで説明をさせていただいておりますが、合併による財政支援措置の枯渇ということがございます。地方交付税算定という合併算定替措置の終了ということでございますが、説明が長くなりますのでこちらに書いてあるということになりますが、タイミング的にはこの下のグラフのように、矢印のところのように赤字体質が顕在化したというふうに考えております。以上になります。

参加者

すみません。ちょっとお願いしたいんですけど、私六郷の80代の一人暮らしなんですけども、今町内でコミュニティバスが走ってますね。それを買ひ物のオギノあたりまで、伸ばしていただくことができませんかしら。前はAIで注文して、オギノ辺りで買ひ物に行けたんですけども、今はいけないんですよ。自転車で行くってなると交通事故に遭うと(困る)。峡南橋を渡ってあの中富の方まで自転車で行かなくちゃならないんですけども、それを何とかオギノあたりまで行っていただくことはできないでしょうかね。なんか身延町の方は、六郷の方にもどんどん入ってますし、六郷のバスだけあの中富とか、向こうへ入れないというような話を聞いたんですけども、そこを何とかしていただけないでしょうか。結構あの一人暮らしが多いんですよ。で、買ひ物がどうしても行くのに困るんですよ、食べないわけにはいかないから、何とか。鰻沢タクシーの運転手さんに聞くと、町でいって言えば行きますよって言ってくれているんですけども、その点どうなんですかね。お願いします。

町長

はい具体的に西島地区の商業施設までということで、AIオンデマンドのですね、実証実験につきには、そこまで行かしていただいたところで。今の現状を申し上げますと、地元の商店などから少し困るという、そういう話があるということで、代替といたしまして身延町が運行している岩間からの甲斐岩間駅からですね、バスが、ちょっと時間帯はちょっとわかりませんが、使えるということのようでございます。本当にコミュニティバスっていうのは、非常にいろんな利害関係があるということで、なかなか思い通りに動かないっていうのが実際ございませ

て、またこの地区はタクシー事業者も市川三郷町全体がですねタクシー事業者がなくなったというふうにございます。いろんな規制緩和でですね、タクシーが非常に厳しい運営状況ということはわかっておりますがいろんな買い物のツアーですとか、あるいはNPO等々の支援体制なんかもいろいろ検討はしてはございますけれども、そういったところでは少し苦戦をしてございます。今現状は先ほど申し上げましたように身延町のバスが岩間駅から出ているということは承知してございます。いろんな検討はしているということでございます。

参加者

私一点だけ質問させてください。またこの質問は回答によっては、要望になりますけれども、経常収支比率のところでは私はもう経理関係詳しくないので、こういう一つの指標が出て全国の順位とか、非常に町民に伝わりやすい伝え方だなんていうふうに感じました。その内容はかなり皆さんおっしゃったようにショッキングな内容だったんですけども、私ここへ来るにあたって、町のホームページとかニュースとか新聞とか一通り目を通した上で、来てます。今日来てこの資料をいただいて、13ページの資料が町で行った非常事態宣言のときにはなかった資料なのかな。ここにすごく大事なことが書いてあって、これ経常収支比率令和7年末で95%という目標という狙いってことですね。現状98.2ですからやっぱり一つにはその改善ってのはやっぱり時間がかかりますし、皆さんに理解を得ながら進めていかなきゃいけないということで、中長期的な、これ、令和7年末ですから中期かな。あと長期的なところも一番下のところに書いてありますけども、令和8年度以降も継続的に経費の縮減に努めていくってということがわかってます。12月末までに行政行財政改革推進計画というのは、作って1月には説明していただけるということで、具体的に中身が何ですかっていうのはそれを待ちたいと思います。経常収支比率のところ、95っていう数字が出てますけども、私ニュースでUTYのニュースで聞いたんですけども、当然全国で11番目に悪い町ですから、県内ではダントツですけども、次に悪いのがその比率でいうと90だから、もっと近いのかなと思ったんですけど意外と離れてる。そこに対して一番良い街が69だったように記憶してます。その中では、健全経営というのは、概ね目安とすれば70から80ぐらいが健全計画ということを言われていて、山梨県の中でも、平均が90、85という数字も出てますけれども、町の中では行財政改革推進計画の中に長期的なもので結構ですので、そういう数値的なものは出てくるんでしょうか、また出てきてほしいというふうには考えてますが、以上です。

総務課長

ありがとうございます。概ねですね、参加者さんがおっしゃった通りでございます。現在 1.8%しか政策的また、町がオリジナルとして使えるお金はございませんので、では7年度末までになるべくいろんな改革をする中で5%ぐらいはそういう費用が使えるようにしようということが、今回の大きな中期的な目的です。その推進計画は、令和7年度末までのものを想定しておりますので、一生懸命努力しておりますけれども、差し当ってはその数を目指したいということでございます。おっしゃられたように70%とかですね、そういういい数字を持っている自治体もたくさんありますのでそこを目指していくためには、この短期間集中してやりますけれども、そのやり方を継続してずっと続けていくことが、次の時代にずっと繋がっているというふうに思っていますので、具体的に数字がそこで出せるかは、ちょっとお約束はしかねますけれども、そういう目標をずっと持ちながら取り組んでいきたいと思えます。

参加者

はい、ありがとうございます。ぜひですね数値目標を明確にさせていただくことが、町民も役場職員の方もですね、それが一つの、俺たちが達成したんだというモチベーションにも繋がると思うので、ぜひ私も頑張りますけれども、みんなで頑張るって、この市川三郷町を今の悪い状況から脱していけるように頑張っていきたいと思えますのでよろしくをお願いします。

参加者

2回目の質問ですが、3年前に実はですね IF センターの図書館の方に私 1500 冊寄付しますって行って、背表紙の写真 20 枚くらいと、ダンボール、15 箱くらい持っていったんですが、そのうち 1500 のうち 58 冊だけ受け取りますということで、がっかりしたんですけど、捨てるなら捨てていいと言ったんですが、58 冊だけなぜなのかと思って。やる気がないのかあるいは権限がないからなのか分からないですけど、もっと積極的に先ほどの人数の話を含めて働いていただいたらいいんじゃないかと思いました。それで町民の皆さん郷土を愛して、自分が何かできるんだったらやりたいと思っている人もいると思うのでぜひやらせていただければと思います。以上です。

町長

大変ありがとうございます。今 1500 冊を持ちいただいて、58 冊しかちょっと受け取らなかったということで、大変ありがとうございます。そういったいろんなまさに先ほどから言われてるように職員の体質で

すとか、たばこの問題ですとかいろんなことも、やはりソフト面です
ね、やらなければならないこともあるなというふうに今感じたところで
ございます。ご提言ありがとうございます。

参加者

今までずっといろいろ聞いてたらですねまず役場の方でどうしてこ
うだったっていう原因が、つかめてないような感じですよ。このまま
いったら、原因がわからないで、改善策を見つけるってことはまず
不可能です。もっと真剣にやって1月には町民が納得できるような改善
策をお示しいただくようお願いいたします。

町長

はい、1月には具体的なものをお出しするお約束をさせていただいた
ところでございます。赤字の顕在化ということは、先ほど財政課長の方
からご説明させていただいたように、何度も申し上げますけれども、収
入の減少と、それから地方交付税の減少ということでございます。まず
そういったことをですね、踏まえて今後私達がとるべき方向というもの
が見えてきました。本当に今、ピンチというところでもありますけれども
それをチャンスに変えていくいいきっかけになったというふうに考え
て、本当に1月にはですね、皆様方にお示しをさせていただいて、この
町がどういうふうに進んでいくんだという形を見せていきたいと思
います。

(5) 閉会 午後9時55分